



PASSI  N in Seed



会社案内

株式会社 **サカタのタネ**

1913年の創業から現在に至るまで常に変わらないもの。

それは、私たちの「タネにかける情熱」です。

花や野菜の品種開発を通し世界の人々の生活文化向上に貢献するために。

サカタのタネは、「花は心の栄養、野菜は体の栄養」と信じて、

タネを届け続けていきます。

社 是

『品質・誠実・奉仕』

経営理念

『良質な商品とサービスの提供により、世界の人々の生活文化向上に貢献し、世界一の種苗会社をめざす』

『三者共栄』

『三位一体』

『三層共生』

グループスローガン

PASSION in Seed

〔コンプライアンス経営〕

当社はコーポレートガバナンス(企業統治)の一環として、コンプライアンス体制を整備しています。また、コンプライアンスの理念を「コンプライアンス宣言」として定め、全従業員が共有しながら、日々の業務を通じて、企業に求められる社会的要請に応じていきます。

〔コンプライアンス宣言〕

1. 「タネ」を通して地球規模で貢献できる企業をめざします
2. 倫理・法令を順守して企業活動を行います
3. 「品質・誠実・奉仕」を実践します
4. 常に開かれた企業をめざします
5. 働きがいのある職場、風通しの良い組織をつくります

その他、社長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス実践に関する重要方針の決定を行い、また、法令・企業倫理に関する事項について、コンプライアンス相談窓口を設置し、従業員からの相談・通報を受け付けています。



社是・経営理念



Top Message

世界中を笑顔にする1粒を

世界中を笑顔にする1粒を。サカタのタネは、種苗の力で世界中に笑顔と健康をお届けすることを使命としております。農園芸の現場の課題を解決する新しい花と野菜の品種やサービスを提供することが世界を豊かにしていくという思いをもとに、110年をこえてビジネスを展開してまいりました。

昨今、私たちを取りまく環境はめまぐるしく変化しております。豪雨、酷暑や干ばつなどの気候変動、世界的な経済の不安定化、地政学的なリスクの増加など、課題は枚挙にいとまがありません。しかし、このような激動の時代の中でも、農園芸業の根幹を成すタネの重要性は不変です。当社は、「品質・誠実・奉仕」の創業以来の社是のもと、長い歴史とともに培った経験を生かし、あくなき探求心を育み、技術力を磨き、そして情熱を持って、これまでにないタネを創り出してまいります。

花は心の栄養、野菜は体の栄養。世界の人々に幸福と健康をもたらすべく、花と野菜の種苗の安定供給に努め、企業活動を通じた持続可能な環境と社会の実現も推進いたします。

これからも農園芸の新しい未来を切り拓いていけるよう務めてまいりますので、皆さまの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
坂田 宏

代表取締役社長 社長執行役員
加々美 勉

タネにかかる情熱とともに サカタのタネを築いたあゆみ

現在170カ国以上でタネを販売するなど、グローバルに展開しているサカタのタネ。
横浜の苗木輸出入会社から始まり、110年にわたり紡がれてきた歴史の裏には、
確かな育種技術と品質にかかる思いがあります。

苗木の輸出入業から花・野菜種子の輸出業へ

創業者・坂田武雄が、横浜で苗木の輸出入を生業とする坂田農園を起こしたのは、まだ明治の香りが残る1913年のこと。アメリカ、イギリス、オランダで合計約4年間、苗木事業を学んだ後の起業でした。しかし創業から数年経ってもなかなか利益は出ず、種子輸出中心の専門会社として再出発をすることになります。当時の日本で初めての種子輸出が成功し、次第に注文が舞い込むようになります。さらに、高品質な種子を届けたいという思いから、1921年には民間初の発芽試験室で発芽試験を開始しました。



若かりし頃の坂田武雄



民間初の発芽試験室



1920年ごろの本社（坂田商会）

1913

1930～

1950～

1970～

1990～

2010～

世界初の完全八重咲き F₁品種を開発

その後、武雄はペチュニアの種子生産に取り組み始めます。当時、特に八重咲きペチュニアは海外で人気が高かったものの、まいたタネの半分は一重咲きになってしまうものでした。武雄は「まいた種子すべてが八重咲きになるペチュニアを開発できれば、成功は間違いない」と確信。八重咲きペチュニアを研究した禹長春博士の基礎理論をもとに1931年に世界初となる完全八重咲きペチュニアのF₁品種を完成させました。この偉業は“サカタマジック”と称され、世界中の種苗会社から注文が殺到しました。終戦後は横浜市に社屋を建設し、品種育成を進めるとともに、優れたF₁品種の開発を進めることになります。

世界初の完全八重咲きF₁品種
ペチュニア「ビクトリアス ミックス」世界初のF₁キャベツ
「ステキ甘藍」が掲載された
1940年のサカタ種苗目録

野菜育種を拡大し、 急成長を実現

戦後の荒廃から立ち直る際に主力となったのは、茅ヶ崎試験場で進められた輸出用ペチュニアを中心とする花の育種と栽培でした。1957年には武雄の研究成果が実り、赤白模様で多花の一重咲きペチュニア「グリッターズ」がAAS（全米審査会）銅賞を受賞し、当社は花の品種開発企業として不動の地位を確立していきます。一方、1960年代の野菜部門はF₁品種育成の初期段階にありました。現在もキャベツの名品として名高い「金系201号」や「金春」などを作り出しました。また、1962年に発表したメロン「プリンス」は、手ごろな価格で買えるおいしいメロンとして大人気に。市場では「プリンス」の偽物のタネが出回るほどでした。



キャベツ「金系201号」



メロン「プリンス」

研究開発を強化し、 グローバルに展開

1970年代は優良なF₁品種の育成に力を入れるとともに、本格的な海外展開を始めた時期でした。1971年には千葉県に「君津育種場」を開設し、育種品目を増やすだけでなく、耐病性のある品種の開発や、野菜栽培の適応性試験を始めました。また、1977年に発売したメロン「アンデス」は大衆的なネットメロンとして多くの顧客に喜ばれました。日本のメロンの常識を変えてきた当社は、平成初頭段階で国内メロン種子市場を大きく独占し、「メロンならサカタ」という評価を不動のものにしました。一方、海外事業の拠点として、1977年にアメリカで現地法人を設立。当社のタネは短期間でアメリカ市場に受け入れられ、F₁ブロッコリーは販売量、市場占有率ともに高いものとなりました。



サカタ・シード・アメリカ



メロン「アンデス」

高品質なタネでさらなる海外進出

1990年代に入り、サカタのタネは海外展開をますます加速させていきます。1990年の「サカタ・シード・ヨーロッパ」設立を皮切りに、チリ、メキシコ、フランス、タイ、中国と世界各地に現地法人を設立。1997年時点で北米、南米、欧州、アジア圏と事業のグローバル展開に必要な拠点が整いました。また、当社最大の野菜と花の研究開発基地であり、病理・育種工学研究の拠点である掛川総合研究センターが開設されました。2003年には、日本の民間企業で初めてISTA（国際種子検査協会）認証試験室に認定されました。品質の高さにかける思いは、武雄が発芽試験室を設立したときから受け継がれています。

ISTA（国際種子検査協会）
承認検査所の認証書

掛川総合研究センター

PASSIONの その先へ

サカタのタネが広く社会で果たすべき責任は、優良な品種の作出と、その種苗を通じて社会に幸せを届けることです。これまでも農園芸業の一人として、種苗を通じて環境と社会を豊かに、そして持続可能にしてきましたが、これからも日本発祥のグローバル企業・研究開発型企業として、「品質・誠実・奉仕」を胸に、皆さんと共に歩んでまいります。

タネをまく楽しみ、面白さを
次世代にも伝える活動も

持続的な共生を目指して

2013年に創業100周年を迎えたサカタのタネ。自然と共に歩む農園芸業にとって、気候変動への対応、遺伝資源の保護など、大きな課題が浮き彫りとなり、環境や社会を守る責任がさらに増えています。サカタのタネは2022年にこれまでの経営理念「三者共栄」「三位一体」に、新たに「三層共生」を加え、地球上の自然と、その自然に内包される社会、そして社会に帰属する企業の持続的な共生を目指すことを、改めて約束しました。

「SEGES都市のオアシス」に
認定された本社公開空地生物多様性条約に基づく
遺伝資源利用により
育種された「サンパチェンス」

強みを起点に、 世界に笑顔をお届けする事業領域

「花は心の栄養、野菜は体の栄養」と信じ、
世界の人々に笑顔と健康をお届けするためのサカタオリジナル商品の開発。
グローバルな研究体制を構築し、各地の気候や環境、文化、特性を尊重し、
世界の市場に向けた品種の育成と農園芸資材の開発を行っています。

花事業

花事業では主に花種子、花苗、球根の研究開発、生産、仕入れ、販売を行っています。また、本事業には長年蓄積してきた豊富な遺伝資源を有したグローバルな研究体制のもと、優れた技術を持つブリーダーや植物病理研究の専門家をはじめとした優秀な人材がそろっており、継続してオリジナル性の高い種苗を創出しています。これまでも異常気象や気候変動の中での安定出荷、生産性の向上、労力の削減、見た目や使い勝手のよさなど、さまざまなニーズや課題に対応し独自性にあふれた品種開発を行ってきました。花は市場がグローバルで、品種は世界共通です。今後も世界中の市場においてより高く評価されるよう努めていきます。

代表的な品種紹介

ヒマワリ「ピンセント®」シリーズ



世界で初めて無花粉タイプF1ヒマワリを開発した当社が育成した最新シリーズ。高い発芽率、季節を越した作りやすさなど、栽培面の課題解決と、丸弁で上向きに咲き、花粉が落ちずに部屋を汚さないといった利用者の課題解決を実現。

ジニア「プロフュージョン」シリーズ



ジニアの種間雑種として当社が世界で初めて商品化し、世界中で広く親しまれている。強健で育てやすく、花が株を覆うように次々に咲いてくる性質により管理の手間を削減。

トルコギキョウ無花粉タイプ「PF ダブルスノー」

世界初の無花粉かつ八重咲きという特徴を持つトルコギキョウ。花粉が発生せず花持ちがよいため、利用者が花を長く楽しむことができると同時に、生産者の作業負担や出荷ロスおよび流通業者の販売ロス削減も実現。



野菜事業

野菜事業では主に野菜種子、野菜苗の研究開発、生産、販売を行っています。野菜事業の強みは、地域に密着した研究体制で各地の文化に根差した多様化するニーズに的確に対応できることです。例えば、野菜が生産、消費される地域の気候や嗜好、食文化などに合わせた品種を育成しています。今後も食味・食感・見た目のよさ、オリジナル性を重視し、世界各地の市場において生産者にも消費者にも喜ばれる品種を継続的に提供していくと同時に、生産性の向上や青果の安定出荷にも寄与する品種の開発にも取り組んでいきます。

代表的な品種紹介

ブロッコリー「おはよう®」

厳寒期収穫の作型で品質低下につながるアントシアンが発生せず、濃緑色で高品質な花蕾が収穫できる高品質アントシアンフリー品種。市場での青果の品質が下がらず、生産者の課題を解決。

スイートコーン「ゴールドラッシュ®」シリーズ



栽培のしやすさはもとより、粒皮が極めてやわらかく、ジューシーではじける食感と芳醇な香り、フルーティーな甘みを実現。

トマト「王様トマト」シリーズ



果肉がしっかりしているため、赤熟もぎり（赤熟収穫）で収穫可能。うま味や栄養が豊富で、甘みと酸味のバランスが取れたトマト本来のおいしさを保った状態で消費者へ届けることができる。

ソリューション事業

ソリューション事業では主に花や野菜の栽培・出荷に関わる農園芸資材の研究開発、製造、販売を行っています。植物栽培の現場を知る当社だからこそ気づき、提案できる機能を実装した資材の研究開発を行うことで、現場の課題解決の支援へとつなげます。例えば環境制御システム「アルスブラウト」は生産現場の省力化に、高機能液肥「サカタマモルシリーズ」は異常気象への対策として高い評価を受けています。今後も環境配慮型商品、特に近年注目を浴びているバイオスティミュラント資材や有機栽培に対応した商品開発に加え、情報技術の積極的活用により多くの方に安心してご使用いただける商品の提供を進めていきます。

代表的な商品紹介

高機能液肥 サカタマモルシリーズ「アラフェスタ」



ALAと2価鉄の組み合わせにより、葉緑素の生成を促し、光合成能力の維持・向上。低日照・低温条件でも植物の成長が期待できる。

環境制御システム「Arsprout(アルスブラウト)」

スマート農業ビジネスへの取り組みとして環境制御システムの普及を進め、生産現場の省力化を支援。品目・品種・ハウスの仕様や動かしたい機器をハウスに合わせてきめ細かく選択可能。環境制御システムを低コストで実現。



一粒のタネがお客様に届くまで

当社のタネは、どれも発芽して成長するのが当たり前。

その当たり前をつくるために、私たちは手を尽くし、誠意を尽くしています。

すべては高品質なタネを安定的にお客様にお届けするため。すべての工程がサカタクオリティです。

研究開発 / 生産



1 研究開発



10年近い年月をかけて 品種を開発

当社は研究開発型企業として、優れた品種の開発を続けています。新たな品種を一つ生み出すのにかかる時間は、「育種10年」などといわれるほど。一方で、当社は毎年世に新たな品種を送り出しています。オリジナル性の高い品種をこれまで数多く誕生させることができたのは、当社が100年以上の歴史の中で蓄えた豊富な遺伝資源あってこそ。また、世界中に張り巡らされたネットワークも強みの一つです。研究拠点は日本のみならず、アメリカやフランス、インド、ブラジルなど、世界中に広がっています。各地に拠点を置くことで、その土地の生活文化や気候風土に適した品種を生み出すことを可能にしているのです。



一つ一つの花を手で交配する育種作業



ブリーダーの経験とノウハウを生かした育種

2 生産管理



「適地適作」で 高品質なタネを安定供給

研究開発によって生まれた品種は、商品化される前に試験栽培を行います。世界各地で契約している生産者の協力の下、実際に新品種を栽培することになる圃場やハウスで試作するのです。そのうえで、さまざまな基準をクリアしているかを検証し、商品化できるかどうか判断します。商品化が決まった品種は、世界のさまざまな地域で委託採種農家・会社の協力の下、生産されます。原産地に近い環境で採種した方が、質の高いタネを作ることができるからです。また、採種地を分散させることで気象災害や病気などによるリスクを減らし、供給量を安定させることもできます。このような生産体制を築くことで、当社は高品質なタネの安定的な供給を実現しています。



タネ採り専用の圃場(畑)



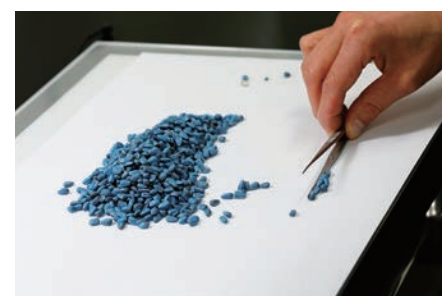
さやごと収穫していく採種

3 品質管理



信頼をつくる 確かな品質

世界各地で生産されたタネは、サカタのタネに集められ、品質が基準を上回っているか検査にかけられます。タネ以外に不純物が混じっていないか、どれくらい発芽するか、他の品種との交雑や異品種の混入がないか、病原菌に汚染されていないかなどを調べます。当社の発芽検査試験室は日本の民間種苗会社では初であるISTA認証試験室に認定されるなど、その検査技術と品質管理が評価されています。また、お客様がタネを使いやすくするために、発芽ぞろいをよくする処理や細かいタネをまきやすくする種子加工も実施。こうして、タネは梱包された商品となって世界各国に出荷されていきます。



目視で行う純潔度検査



ろ紙法による発芽試験

4 販売



さまざまなチャネルを 通じてお客様へ

当社のタネは、このように各工程の厳しい基準をクリアして初めて市場に流通するのです。出荷されたタネは各地域にある種苗店、JA、園芸専門店、ホームセンターに卸されるほか、直営の通信販売で販売されるなど、さまざまなチャネルを通じてお客様に届けられます。また、商品を購入した後に生じた栽培方法などの悩みや疑問は、園芸業界でも先駆けで設置した「お客様相談室」に相談することができます。さらに、種苗と併せて農園芸資材をはじめとしたソリューションも提案。花のアレンジ方法や野菜を使ったレシピ、品種特性を生かした使い方や楽しみ方の提案も行うなど、手に取った方々に喜んでいただけるような商品とサービスを追求しています。



生産農家に新しい品種を提案



ECサイト
「サカタのタネ オンラインショップ」
通信販売カタログ
『家庭園芸』

世界の人々の
生活文化向上に貢献

世界に広がるサカタのタネ

「良質な商品とサービスの提供により、世界の人々の生活文化向上に貢献する」という
創業者の志を現在まで受け継ぎ、グローバルで事業を展開しています。

各地域の文化や価値観、嗜好などを理解・尊重するとともに、

各地域の農業・園芸業の課題解決と持続的発展に寄与する花と野菜の種苗を提供しています。

サカタグループの主要事業所・関係会社および主要研究拠点を紹介します。

Europe / Middle East / Africa

関係会社

- ・サカタ・ベジタブルズ・ヨーロッパ
- ・サカタ・オーナメンタルズ・ヨーロッパ
- ・サカタ・ホランド
- ・サカタ・ユークー
- ・サカタ・シード・イペリカ
- ・サカタ・トルコ
- ・サカタ・シード・サザンアフリカ

研究拠点

- ・ウシヨー研究農場
- ・オーデンセ研究農場
- ・サカタ・ユークー
- ・アルメリア研究農場
- ・アンタルヤ研究農場
- ・サカタ・シード・サザンアフリカ

事業所

- ・サカタ・ロシア・駐在員事務所
- ・サカタ中東オフィス
- ・イスラエル支店

事業所

- ・北海道支店
- ・東北支店
- ・関東支店
- ・東関東支店
- ・中部支店
- ・関西支店
- ・九州支店
- ・矢板物流センター

販売展開する地域 2025年9月現在

170カ国以上

研究拠点 2025年9月現在

21カ所

連結子会社 2025年9月現在

37社

Asia / Oceania

本社

- ・株式会社 サカタのタネ

関係会社

- ・株式会社 山形セルトップ
- ・株式会社 飛騨セルトップ
- ・株式会社 福岡セルトップ
- ・株式会社 サカタ ロジスティックス
- ・有限会社 サカタテクノサービス
- ・サカタのタネ グリーンサービス 株式会社
- ・株式会社 プロリード
- ・サカタ・コリア
- ・坂田種苗(蘇州)有限公司
- ・坂田花彩園芸(嘉興)有限公司
- ・サカタ・ベトナム
- ・サカタ・サイアム・シード
- ・サカタ・シード・インディア

研究拠点

- ・北海道研究農場
- ・君津育種場
- ・三郷試験場
- ・掛川総合研究センター
- ・株式会社プロリード
- ・驪州育種研究所
- ・コンケン研究農場
- ・ベンガルール研究農場

関係会社

- ・サカタ・シード・アメリカ
- ・サカタ・シード・メキシコ
- ・サカタ・シード・グアテマラ

研究拠点

- ・ウッドランド イノベーションセンター
- ・サリナス研究農場
- ・フロリダ研究農場
- ・マウントバーノン研究農場
- ・クリアカン イノベーションセンター
- ・コレクアロ研究農場

South America

関係会社

- ・サカタ・シード・スダメリカ
- ・アグリトゥ・セメンテス
- ・イスラ・セメンテス
- ・サカタ・シード・チリ
- ・サカタ・シード・アルゼンチン
- ・サカタ・コロンビア

研究拠点

- ・ブラガンサパウリスタ研究農場

事業運営体制





PASSI  N in Seed

株式会社 **サカタのタネ**

〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台二丁目7番1号

TEL 045-945-8800 (代表)

<https://corporate.sakataseed.co.jp/>



2025年10月
Printed in Japan